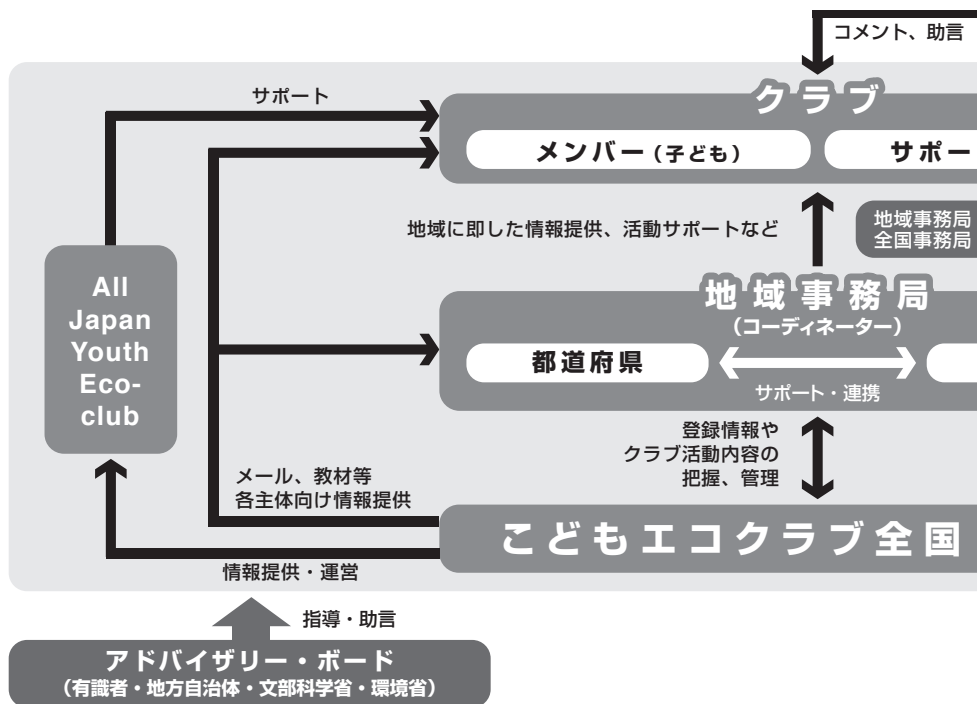




こどもエコクラブを支える力



こどもエコクラブの運営には多くの人たちが関わり、全国のクラブの活動を支援しています。

① サポーター

こどもエコクラブに登録した各クラブの子どもたちを直接応援する大人の方々のことです。子どもたちと一緒に活動するとともに、必要に応じて子どもたちの活動へのアドバイス、活動・仲間づくりのサポート、全国事務局やコーディネーターとのやり取りなどを行います。一つのクラブに何人いても構いません。高校生・大学生も大歓迎です（代表サポーターのみ、成人の方に限ります）。

② 地域事務局（コーディネーター）

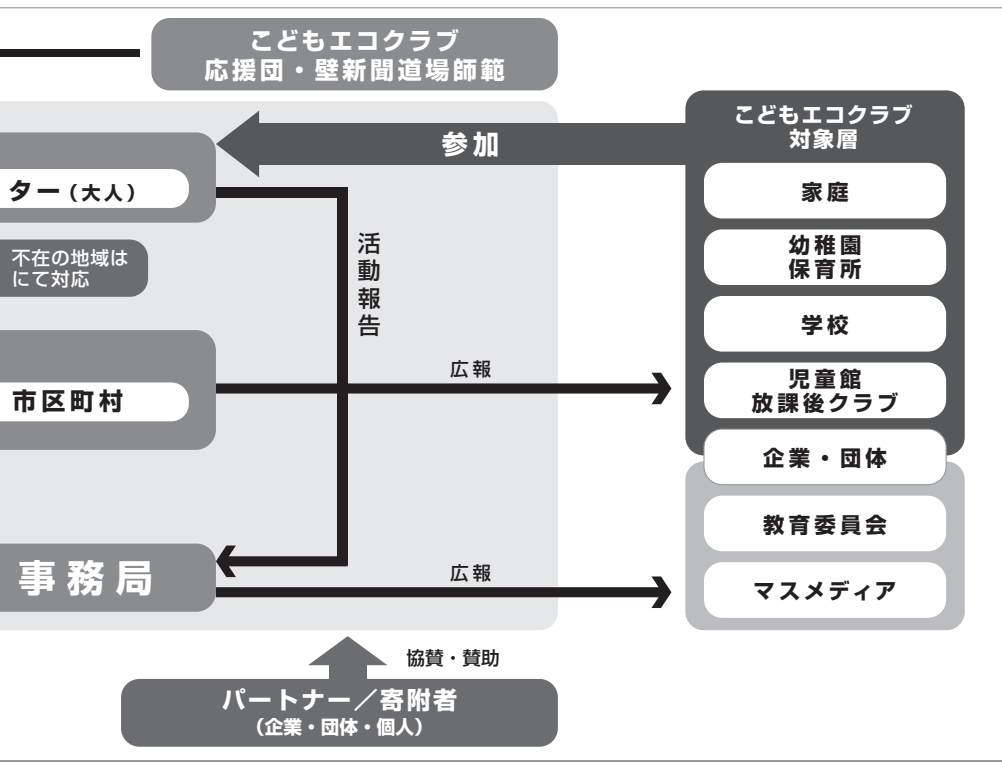
こどもエコクラブの子どもたちを応援し、都道府県や市区町村に窓口を設置している地方自治体を「地域事務局」、その担当者の方を「コーディネーター」と称しています。

コーディネーターは、こどもエコクラブの紹介や登録の呼びかけ、クラブへの情報提供を行います。また地域によっては、登録・変更解散届や活動報告の受付等でクラブとの積極的なコミュニケーションを図ったり、交流会・発表会の開催やクラブへの表彰等を通じて地域に根ざした活動ができるよう応援したりしています。

※各地域の地域事務局は、ウェブサイトに掲載しています。

③ 応援団・壁新聞道場師範

環境カウンセラー等の資格をもつ、環境保全活動や環境学習の専門家。各クラブの活動レポートや壁新聞に対して、コメントや今後の活動の発展・充実に役立つアドバイスを下さる頼もしい存在で、クラブのステップアップを強力にサポートします。



④ All Japan Youth Eco-club

こどもエコクラブのOB・OGを中心とした若い世代のネットワークです。メンバーの子どもたちと年齢が近く、経験豊富な頼れるお兄さん、お姉さんたちが、様々な形でクラブの活動を応援してくれます。メンバーは随時募集していますので、長く活動されているクラブは、ぜひOB・OGにお声掛けください。

⑤ アドバイザリー・ボード

こどもエコクラブの運営方針や、普及・事業効果促進のための方策などについて検討・助言をいただく組織で、国（環境省、文部科学省）、地方自治体、有識者、企業の方たちで構成されています。

⑥ パートナー（企業・団体）

こどもエコクラブで活動する子どもたちを応援する企業・団体のことです。事業の趣旨に賛同しご協賛いただいているほか、広報等を通じて事業の普及にもご協力をいただいています。

⑦ 寄附者のみなさま（個人）

同じくこどもエコクラブの趣旨に賛同し、個人として寄附をいただいている方々です。

⑧ 全国事務局

こどもエコクラブ事業全体の運営・管理を行っています。活動に使用するツールやプログラムの作成、交流会等イベントの企画・実施、各種情報の提供など、サポーターやコーディネーターと連携して子どもたちの環境活動を支援します。また、多くの子どもたちに環境活動が広がるよう、事業の広報・普及に注力するほか、事業の安定的な継続に必要な資金の調達も行います。



わたしたちの目標

私たちは、こどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつなぎ、持続可能な地域社会にむけ活動することを理想に掲げています。そのためのミッションは、

- 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもの「未来を創る力」を育てること
- 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進すること

であると考えています。

- ①自然への感性と知的好奇心を培う
- ②「生きる力」を育む
- ③「地域を想う心」を育てる



STEP 3

交流・ステップアップ

活動の内容やかたちが違っていても、同じ想いの仲間同士をつなげ、暮らしや活動のベースとなる地域（人や自然・文化など）とつながる機会を提供します。

全国事務局・地域事務局
からのサポート

- 地域交流会
- 全国フェスティバル
- 壁新聞道場

STEP 2

環境活動・学習の活性化

子どもたちの活動意欲が向上し活性化するよう、活動への助言を行うとともに、個々の活動を紹介したり、発表や表彰などの機会を設けたりします。

- クラブの活動レポートのウェブサイト掲載
- 応援団によるエールメッセージ
- 壁新聞・絵日記の募集

STEP 1

環境活動・学習のきっかけづくり

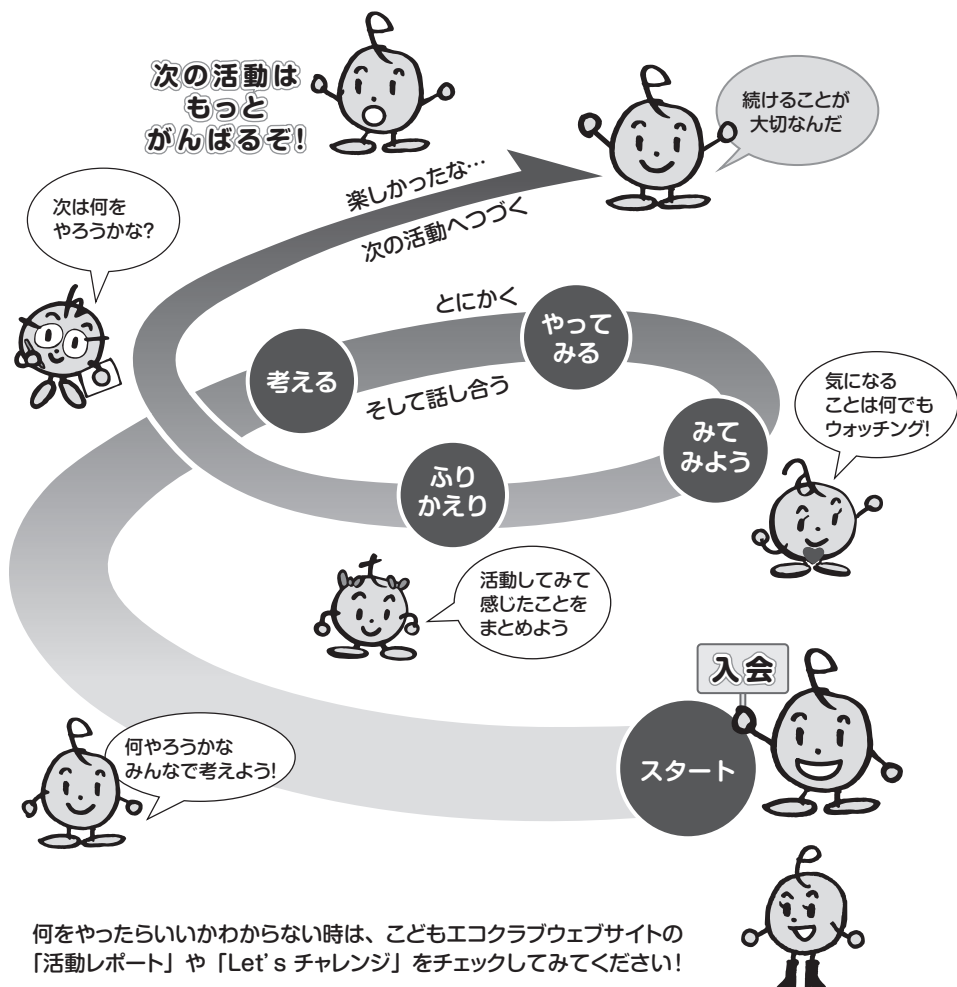
個人やグループ・団体が、環境活動・環境学習に取り組むきっかけをつくります。そのためのツールやプログラム、情報の提供を行います。

- こどもエコクラブの募集・広報
- ツール、プログラムの提供
- 環境活動・学習に役立つ情報の提供
- 広報ツール等の貸し出し



活動のステップアップのために

6 ページの図にあるように、こどもエコクラブは 1 回限りの活動ではなく、そこから学んだことを次に活かすことで、クラブの活動が活性化し活動内容が発展するなど、それぞれのクラブがステップアップしていくことを目指しています。そのために欠かせないのが「ふりかえり」です。活動や体験で感じたこと、考えたことを必ず手帳の活動記録ページに書かせるようにしましょう（最初は短くても構いません）。書けた子どもはまず褒めてやり、できれば一言添えてあげてください。そうすることが、新たな課題の発見と次の活動に向けた意欲につながります。これらを繰り返し、続けていくことで、子どもたちは自然に、自ら考え、学び、仲間と対話し、行動する力を身につけていくでしょう。





子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのための環境活動

こどもエコクラブの活動が、子どもたちにとって楽しくてためになり、続けていくに値するものであるためには、大人の適切なアドバイスやサポートが必要です。しかし、つつい張り切ってしまうと、

- 子どもは形式的に、あるいはいやいや参加するだけ。
- 子どもたちはお客さんとして招かれ、言われたとおり動くだけ。
- 大人が口を出し過ぎて、子どもたちの自主的、自発的な活動をゆがめてしまう。

という状態に陥ることもありがちです。これでは、いくらたくさん子どもたちが登録したとしても、本来の目的を達成することはできません。何といっても、子どもたちが自主的に活動に取り組むことがいちばん。大人の手が加わらないほど、理想のクラブであるともいえます。そのためには、子どもたちの様子を見ながら、大人の順番を見極めることが必要です。

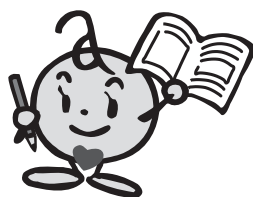
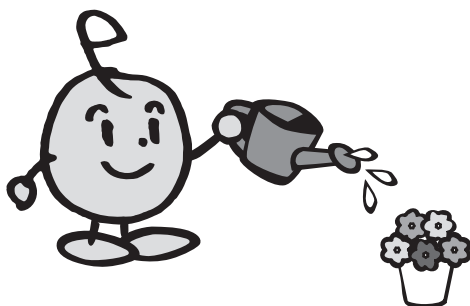
そこで、クラブを「子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのための環境活動」として、上手に応援していくにあたっての、ちょっとした心得を整理しておきましょう。



クラブの活動は、子どもたちの興味、関心、欲求から生まれてほしい

人から与えられたものではなく、自分たちの興味、関心、欲求から生まれたものだからこそ、自分たちのこととして自主的・主体的に活動をやってみよう、続けていこうという気持ちになるものです。こどもエコクラブで紹介しているプログラムや、環境イベントなどはそのきっかけとして役に立ちます。活動を通じて子どもたちの「なぜ?」や「どうして?」を、うまく引き出してあげてください。

また、時として子どもたちの思いは、単なる思いつきだったり、偏りがあったり、大切なことを気づかずにいるということもあります。それぞれの子どもたちの思いを尊重しつつも、「こんな考え方もあるよ」とか「別の立場の人だったらどう思うかな?」などの、見方を変えるきっかけを与えてみましょう。





クラブの活動は、子どもたち自身の 創意・工夫で創り上げてほしい

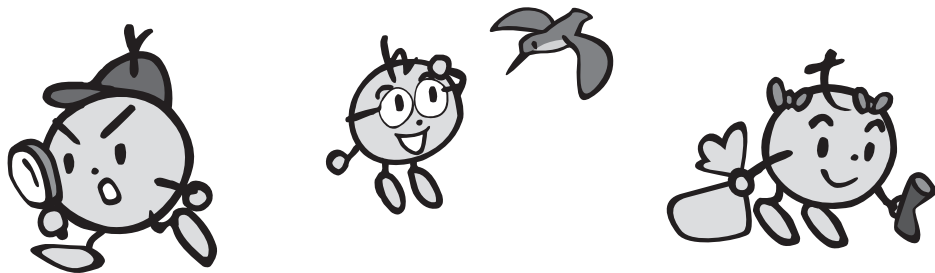
子どもたちは、いろいろな意味で未熟な存在かもしれませんが、大人もびっくりするような感性や知識、行動力を備えています。「三人寄れば文殊の知恵」、「十人十色」…メンバーひとりひとりの持つ思いや能力が十分に発揮されれば、いきいきした活動が生まれることでしょう。安易に答えや解決策を与えるのではなくヒントを出すにとどめ、まずは自分たちで考えたり、話し合ったりさせてください。私たちは、もっと子どもたちの可能性を信頼してもよいのではないのでしょうか。



クラブの活動は、結果も大切だけど、 それまでの過程を大切にしてほしい

「参加した人数は?」、「集めた空き缶の数は?」—場合によってはその結果だけがとりあげられがちです。結果がよいに越したことはありませんが、それよりも大切なことは、そこに至るまでのみんなの関わりや努力です。話し合ったり、役割を分担したり、準備したり、協力したり…。「きっと失敗するだろうな」と思っても、子どもたち自身が決めたことであれば、まずはやらせてみてください（明らかに危険なことや、周囲に迷惑をかけるようなことは別ですが）。その体験から学び、考えたことは、すんなり成功したときよりもずっと深く、自分の身につくはずです。

これらの心得を胸に、私たち大人も子どもたちと一緒に楽しみ、学び、行動することで、クラブの活動は一層充実したものになります。そしてその活動の輪はクラブを越えて、地域全体に広がっていくでしょう。





支援のお願い

こどもエコクラブは、企業・団体、個人等のご寄附・協賛金により運営しています。

環境学習・環境保全活動を通じて子どもの「未来を創る力」を育て、地域において環境に関心を持つ人を増やして環境保全を促進することもエコクラブの取り組みに、ぜひ多くの方々に関わっていただきたいと思います。みなさまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

いただきました寄附金は「こどもエコクラブ事業支援」として、こどもエコクラブメンバーの人材育成、環境保全、啓発普及活動等に活用させていただきます。

ご寄附をいただいた方々につきましては、ご芳名をウェブサイトに掲載させていただきます（希望者のみ）。

ウェブサイトからのクレジットカードによるご寄附

こどもエコクラブウェブサイト ▶ 「ご支援のお願い」 ▶ 「寄附をする」

思い立ったら! エコまるフレンズ（都度寄附）

—□ 3,000 円

毎年! エコまるフレンズ（継続寄附）

—□ 10,000 円 / 年

毎月! エコまるフレンズ（継続寄附）

—□ 1,000 円 / 月



郵便振替、銀行振込によるご寄附

	郵便振替	銀行・金融機関振込
銀行名	ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキョウ）支店
口座番号	00100-7-765058	当座 765058
口座名	こどもエコクラブ	
住所	〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMMビル 5 階	
寄附額	3,000 円より	
手数料	所定の「払込取扱票」をご利用いただければ手数料がかかりませんので、事前に全国事務局までご連絡ください。払込取扱票をお送りいたします。	恐れ入りますが、手数料のご負担をお願いいたします。

※お手数ですが、振込用紙等の「通信欄」にご氏名・ご住所・ご連絡先、ウェブサイトへの記名の可否、領収書の要不要のご記入をお願いいたします。なお本寄附は、寄附金控除の対象になりますので、領収証は大切に保管しておいてください。

携帯電話料金とあわせてご寄付

ソフトバンクのスマートフォンをご利用の方は、募金額（100 円～）を選ぶだけの簡単な操作で、携帯電話利用料と一緒に寄附いただけます。

ご寄附（1,000 円以上）をいただいた方には・・・

- ・こどもエコクラブ活動フォトコンテストの優秀作品を使用したポストカードセットをお送りします。
- ・お住まいの地域のこどもエコクラブの活動などの情報をお送りします。
- ・事業に関連する行事などの情報をご案内いたします。
- ・こどもエコクラブのウェブサイトにご芳名を記載します（ご希望の場合）。
- ・事業報告書等をお送りします。

寄附金控除について

日本環境協会は、内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受けているため、こどもエコクラブへの寄附及び会費には、特定公益増進法人としての税制上の優遇措置が受けられます。個人の場合、確定申告をすることにより、2,000 円を超える寄附額の 40%（自治体によっては、住民税と合わせて最大 50%）が所得税額より控除されます。詳しくは弊協会ウェブサイトをご覧ください。



エコまるグッズの販売

イメージキャラクター「エコまる」がデザインされたオリジナルグッズをウェブサイトで販売しています。クラブのシンボルや、がんばったメンバーへのごほうびとして、ぜひお買い求めください!



バッジ



スタンプ



メンバー手帳



申込方法

①エコまるグッズ注文書（ウェブサイトよりダウンロードできます）にご希望のグッズをご記入のうえ、全国事務局までお送りいただくとともに、料金を下記口座にお振り込みください。

※振込手数料については、ご購入者様にてご負担ください。



	ゆうちょ銀行でのお振込	他の金融機関でのお振込
銀行名	ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキュウ）支店
□ 番号	00140-6-0553191	当座 0553191
□ 座名	こどもエコクラブ全国事務局（コドモエコクラブゼンコクジムキョク）	

②全国事務局にてご入金を確認した後、2週間以内に発送いたします。2週間以上経ってもお手元に届かない場合には、大変お手数ですが全国事務局までご連絡ください。

ご注意

- ・領収証が必要な場合は、注文時に全国事務局までお申し出ください。
- ・グッズが届くまで、注文書をお手元に控えておいてください。
- ・お客様の都合によるグッズの返品・交換は、お受け致しかねます。
- ・グッズの管理については十分注意しておりますが、万が一「不良品」が届いた場合には全国事務局までご連絡ください。早急に対応させていただきます。

書き損じハガキの送付

年賀状や暑中見舞いなどで、書き間違えたり余ったりしたハガキ（郵便ハガキ、未投函のもの）を全国事務局までお送りください。子どもたちにツール等を送る発送費として活用させていただきます。

※送付に際し、ハガキの中の個人情報にあたる部分については、お手数ですが予め油性ペンなどで塗りつぶしていただきますようお願いいたします（料額印面を汚さないようご注意ください）。

古本募金「きしゃぽん」による寄附

読み終わった本、見なくなったDVDなどを運営会社（嵯峨野株式会社）にお送りいただき、査定・換金の上、換金額をご寄附とするものです。詳細は「こどもエコクラブ×きしゃぽん」Webサイト(<http://kishapon.com/jea/>)をご覧ください。





こどもエコクラブ支援企業・団体一覧

こどもエコクラブの趣旨に賛同し、事業全般にご支援をいただいている企業・団体のみなさまです。

アース製薬	東京国際フォーラム
朝日テクノ	東京建物
アマノ	DOWA エコシステム
イオン九州	トヨタ自動車
イオンファンタジー	西日本ビル代行
イオン 1%クラブ	日本印刷産業連合会・グリーンプリンティング 認定事務局
出光興産	日本 CCS 調査
INNER ENERGY TECH INC.	日本容器包装リサイクル協会
SG ホールディングスグループ（佐川急便）	長谷工コーポレーション
塩ビ工業・環境協会	バンダイナムコホールディングス
教育出版	福岡銀行
共立理化学研究所	ブリヂストン
キリン	プロントコーポレーション
キリンビバレッジ	文化シャッター
熊本銀行	HOYA アイケアカンパニー
グリーンクロスジャパン	マインズ農業協同組合
ケニス	マツモトキョシホールディングス
こくみん共済 coop	ミールケア
サントリーホールディングス	三井住友海上火災保険
ジーエス・ユアサ バッテリー	三菱地所
JTB	三菱地所設計
JBRC	三菱地所レジデンス
清水建設	三菱電機
ジャパンビバレッジグループ	山田養蜂場
十八親和銀行	リード
住商フーズ	リソー教育グループ
3R 活動推進フォーラム	リトルスタジオインク
積水化学工業	龍角散
大和ハウス工業	レッドキャベツ
タカラトミー	Render
宝ホールディングス	
鉄建建設	

（五十音順・2021年3月）

【後援】
環境省



センス・オブ・ワンダー

子どもたちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、
驚きと感激にみちあふれています。
残念なことに、わたしたちの多くは大人になるまでに澄み切った洞察力や、
美しいもの、畏敬すべきものへの直観力をにぶらせ、
あるときはまったく失ってしまいます。
もしもわたしが、すべての子どもの成長を見守る善良な妖精に
話しかける力をもっているとしたら、
世界中の子どもに、生涯消えることのない
「センス・オブ・ワンダー＝神秘さや不思議さに目を見はる感性」
を授けてほしいとたのむでしょう。
この感性は、やがて大人になるとやってくる倦怠と幻滅、
わたしたちが自然という力の源泉から遠ざかること、
つまらない人工的なものに夢中になることなどに対する、
かわらぬ解毒剤になるのです。
妖精の力にたよらないで、生まれつきそなわっている子どもの
「センス・オブ・ワンダー」をいつも新鮮にたまちつづけるためには、
わたしたちが住んでいる世界のよこぎ、感激、神秘などを
子どもといっしょに再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、
すくなくともひとり、そばにいる必要があります。

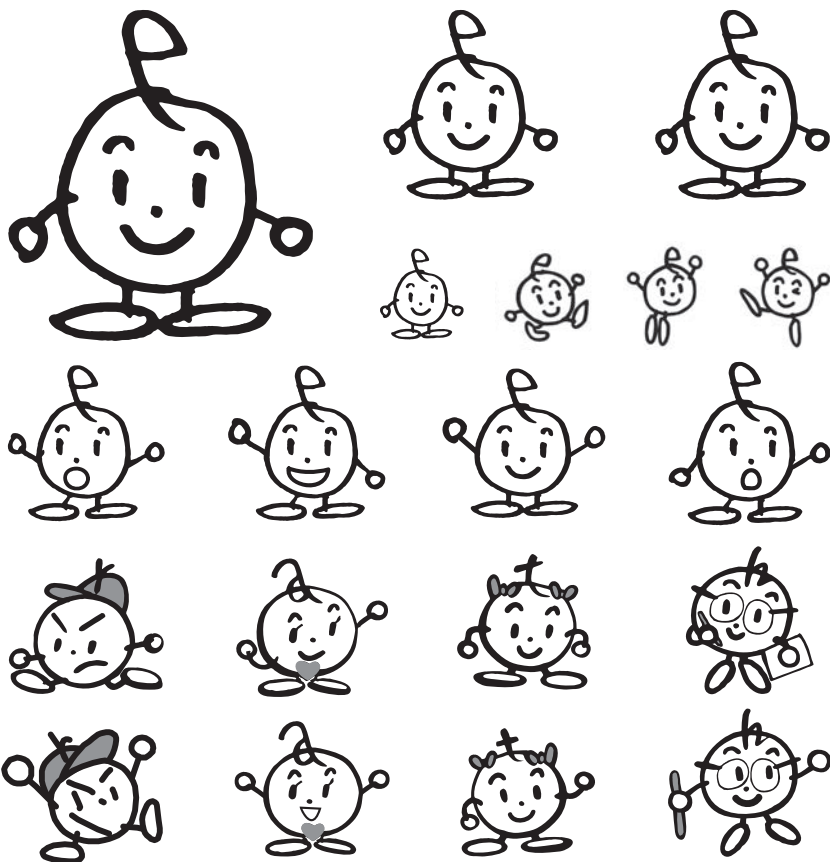
レイチェル・カーソン「センス・オブ・ワンダー」(上遠恵子=訳)



キャラクター清刷り

こどもエコクラブに登録しているクラブがご使用になる場合には、自由にコピーしてご利用ください。

※コーディネーターが使用する場合には、申請書類が必要です。こどもエコクラブウェブサイト「サポーター・コーディネーターの方へ」のページからダウンロードして、ご記入の上、全国事務局までお送りください。



こどもエコクラブ全国事務局
(公益財団法人日本環境協会)

〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル5階

TEL:03-5829-6359 FAX:03-5829-6190

E-mail:j-ecoclub@jeas.or.jp

こどもエコクラブウェブサイト:

<http://www.j-ecoclub.jp/>

(第3刷)

